

様式第2号（第5条関係）

令和4年3月31日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 鵜川和彦



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

1 期日 令和4年3月30日（水）～令和4年3月31日（木）

2 旅行先 福岡県福岡市博多区 「リファレンス駅東ビル」

3 目的 「質問力アップ 特別講座」

質問づくりの基礎～質問の切り口と使える政策大全～

・質問の実例研修1 質問づくりの玉手箱^{未来編}

・質問の実例研修2 質問づくりの玉手箱^{民間活力編}

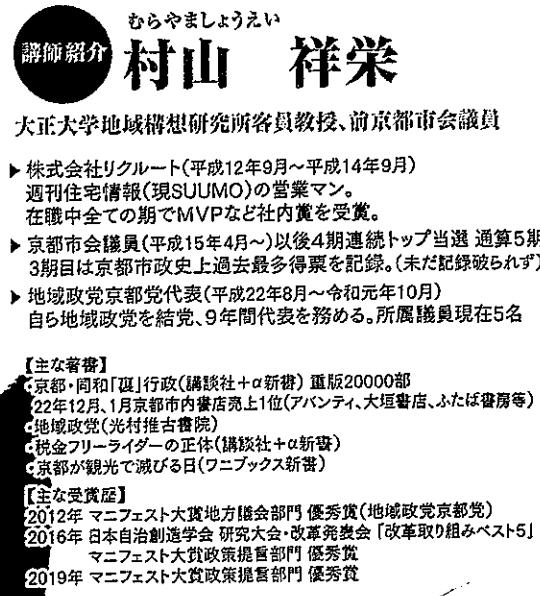
4 関係書類 別紙のとおり



質問力 アップ 特別講座

● in 博多

参加者全員に、講師のご著書
『地域政党』をプレゼント



講師紹介

むらやま しょい
村山 祥栄

大正大学地域構想研究所客員教授、前京都市会議員

- ・株式会社リクルート(平成12年9月～平成14年9月)
週刊住宅情報(現SUUMO)の営業マン。
在職中全ての期でMVPなど社内賞を受賞。
- ・京都市会議員(平成15年4月～)以後4期連続トップ当選 通算5期
3期目は京都市政史上過去最多得票を記録。(未だ記録破られず)
- ・地域政党京都都党代表(平成22年8月～令和元年10月)
自ら地域政党を結党、9年間代表を務める。所属議員現在5名

【主な著書】

- ・京都・同和「裏」行政(講談社+α新書) 重版20000部
22年12月、1月京都市内書店売上1位(アバンティ、大垣書店、ふたば書房等)
- ・地域政党(光村惟古書院)
- ・税金フリーライダーの正体(講談社+α新書)
- ・京都が観光で滅びる日(ワニックス新書)

【主な受賞歴】

- ・2012年 マニフェスト大賞地方議会部門 優秀賞(地域政党京都都党)
- ・2016年 日本自治創造学会研究大会・改革発表会「改革取り組みベスト5」
マニフェスト大賞政策提言部門 優秀賞
- ・2019年 マニフェスト大賞政策提言部門 優秀賞

2/18(金)
3/30(水)

10:00～12:30

質問づくりの基礎 ～質問の切り口と使える政策大全～

- ・質問をする理由と、ダメな質問例
- ・質問づくりのフローと質問シート
- ・先進的コロナ対策の事例から学ぶ
- ・実際の質問からポイントを解説

14:00～16:30

質問の実例研修1 質問づくりの玉手箱 [未来編]

- ・IT初心者でもわかる自治体DX
- ・DXの基礎と、最新事例集
- ・DXが生み出す世界と議員の関わり
- ・企業誘致から行政広報まで使える事例満載

2/19(土)
3/31(木)

10:00～12:30

質問の実例研修2 質問づくりの玉手箱 [民間活力編]

- ・発想の転換! 民間活力でこんなに変わる
- ・PFI、PFS、SIBの解説
- ・民間活力の活用事例集
- ・来年度にはこんな政策提案型質問をしてみよう

14:00～16:30

一人会派・少数会派での戦い方 質問後の爆発的広報力

- ・出来ないのは「知らないから」と、「しないから」
- ・「うちの議会はダメ」というのは政治家失格
- ・力のある議員は何故力を持っているか
- ・政策での勝負の仕方
- ・質疑を生かした広報のポイント

↑ FAX 050-6868-9679 ↑

お申込みは FAX または メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

✉ メール申込み方法

mail@chihogiken.or.jp

🖨️ FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで 050-6868-9679 宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

in 博多

2月18日
(金曜日)

10:00~ 質問づくりの基礎
12:30 ~質問の切り口と使える政策大全~

14:00~ 質問の実例研修 1
16:30 質問づくりの玉手箱 [未来編]

2月19日
(土曜日)

10:00~ 質問の実例研修 2
12:30 質問づくりの玉手箱 [民間活力編]

14:00~ 一人会派・少数会派での戦い方
16:30 質問後の爆発的広報力

3月30日
(水曜日)

10:00~ 質問づくりの基礎
12:30 ~質問の切り口と使える政策大全~

14:00~ 質問の実例研修 1
16:30 質問づくりの玉手箱 [未来編]

3月31日
(木曜日)

10:00~ 質問の実例研修 2
12:30 質問づくりの玉手箱 [民間活力編]

14:00~ 一人会派・少数会派での戦い方
16:30 質問後の爆発的広報力

お名前	(フリガナ) ラカワ カズヒコ 鶴川 和彦	貴議会名	栗山町議会 (ヶ月目)
電話番号	(090) 1523 - 7100	FAX番号	() - -
E-mail	kukawa512 @ icloud.com		
領収証宛名	(ご本人様名)・その他()		

会場の参加を希望せず、
郵送サービスでのお申込みの方は
チェックしてください

当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望)
音声データの無断転載等はしないことに同意して申込みます
※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもご入場をお断りさせていただきます。
必ず欠席される方のみチェックしてください。

開催
場所

リファレンス駅東ビル

[8講座同場所]〒812-0013 福岡市
博多区博多駅東1丁目16-14

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。
※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

地方議員研究会

TEL 050-6868-9678

FAX 050-6868-9679

メール mail@chihogiken.or.jp

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-2
大阪駅前第2ビル2階5-6号室



JR博多駅 筑紫口より 徒歩4分

博多スターレーン方面へ向かい、「アパホテル」角を右折。
左側ガラス貼りのビル。(1階コインパーキング)

日 時	令和4年3月30日 10:00~16:30 令和4年3月31日 10:00~12:30
研修先	福岡県福岡市博多区「リファレンス駅東ビル」
研修内容	「質問力アップ 特別講座」 質問づくりの基礎～質問の切り口と使える政策大全～ 質問の実例研修1 質問づくりの玉手箱 未来編 質問の実例研修2 質問づくりの玉手箱 民間活力編
講 師	大正大学地域構想研究所客員教授 村山 祥栄 氏
1. 視察目的	◎3月30日（水） 10:00~12:30
2. 視察内容 ①背景 ②特徴	「質問づくりの基礎～質問の切り口と使える政策大全～」
3. 主な質疑	はじめに、印象に残った言葉。政策は、取引材料になる。政策は、ただで作れる交渉カード、潰されずに戦え！潰されるなら取引せよ。①基本的には折れないことが大切。一時的に関係は悪化するがそのうち戻る。与しやすい議員の言うことなど誰も聞かない。②折れるなら取引材料として使え。ただではくたばるな。労力分は回収を。質問ひとつで役所に貸し借りを作れる。波風をたてなければ、何も始まらない。誰かが言わないと世の中は、何も変わらない。言わることは、やらない事と同義である。発言することで交渉カードが手にはいる。当議会にも、2人の発言が多い議員がいるが貸し借りを担保するには、議会全体の応援が必要だと思った。参考事例として、副業人材で地方活性化。逆プロポで資金を獲得。遊休資産の活用（ちばぎん総合研究所と連携で県内の市町村と連携して空き公共施設等と民間企業をマッチングする事業を実施。13市町村で28件の企業誘致に成功）民間の情報発信部門も活用すべし。総じて感じたことは、情熱が人を動かす。情報なきところに解決なし。本気度が伝わらないと、相手も本気にならない。適当にすれば、適当に返ってくる。とても情熱的な講師で良かった。
4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	◎3月30日（水） 14:00~16:30 「質問の実例研修1 質問づくりの玉手箱 未来編 」
	DX（デジタルトランスフォーメーション）とは「デジタル技術による（生活やビジネスの）変革」広義のDX スウェーデンのウメオ大学教授エリック・ストルターマン氏「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」狭義のDX 企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、

顧客や社会のニーズを基に製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し競争上の優位性を確立すること。

DXで意識すべき3つの領域 役所向けとして、（生産性向上・業務改善）→（CIOが中心）→（コスト削減額など数値目標が重要）、企業向けとして（デジタル化支援）→CDO（デジタルマーケティングができる専門人材）→企業の顧客獲得や売上向上、市民向けとして（お得・便利）→（CDO特にTOCに強い専門人材）→（生活利便性の向上割引など生活実感としてのメリット）である。

日本で1番進んでる自治体は、東京都渋谷区である。その教訓が実際に面白いです。『この国は、21世紀の課題を20世紀の技術と19世紀のやり方で解決しようとしている。特にセキュリティと利便性を両立4層構造の革新的なICT基盤が素晴らしい。それから高齢者デジタルデバイド解消に向けた実証事業（スマートフォン貸与）などは、栗山町でも出来る事業だと思った。

もう一つは、LINEの活用であります。国内主要SNS/MAU数では、2019年でLINE 8,200万人、Twitter 4,500万人、Instagram 3,300万人、Facebook 2,600万人である。LINEが圧倒的に利用者が多く、特に福岡市はLINEをはじめとするSNSツールを駆使している。LINE@の登録者は164万人、自治体LINEアカウント全国一位、県下の公式アカウントでも民間を抑え首位を記録している。また、2017年には、LINEと「福岡市における情報発信強化に関する連携協定」締結し、全国に先駆けLINEを活用した情報発信をスタートし、「8割が満足」とたかい満足度を獲得している。

実際に、研修で福岡市と友達になり試していたが凄く便利で簡単、しかも、細部にわたり情報交換出来るのでびっくりしました。

◎3月31日（木） 10：00～12：30

「質問の実例研修2 質問づくりの玉手箱【民間活力編】

とても、良い研修だった。講師も元京都市議会議員という事で、言葉も力強いし、なんとなく実際の経験からくるのか非常に説得力がありました。

私が議員になった2007年は、小泉総理・竹中大臣の下、三位一体改革の真っ只中で官から民へ、行政運営から行政経営への時代であった。あれから15年民間への手法もこんなに変わったのかという実感です。

まず、「まち・ひと・しごと創生総合戦略及び地方創生交付金事

業で基本目標ごとに数値目標の設定とこれらのを用いた進行管理が義務づけられその数値目標は、アウトカム指標であること。「まち・ひと・しごと創生基本方針2017」において「地方公共団体における持続可能な開発目標（SDGs）の推進」がうちだされ、SDGsは、目標達成に向けた進捗状況を測るための約230の指標が提案されており、SDGsに取り組むことによって結果的にアウトカム指標で目標管理を行うことになる。

ここで、1番勉強したいことに触れたい。内閣府成果連動型推進室で詳しく触れられているが、成果連動型民間委託契約 PFS（Pay For Success）である。事業の成果に連動して委託料の最終支払い額が決まる民間への行政サービスの業務委託契約です。それに対しSIB（Social Impact Bond）は、民間からの外部資金調達を伴う成果連動型民間委託契約を指します。PFSで目指すメリットとして①住民にとっては、行政課題が効果的に解決され、満足度が向上。②民間事業者にとっては、事業提案（創意工夫など）、事業取組の意欲が大幅に向。行政にとっては、ワイスペンディングを実現。

事例として鎌倉市を参考にしたい。北海道では、上ノ国町がやっているようだ。あとインフラ整備の民間協同PFIについては、パークPFIが参考になった。とくに天王寺公園エントランス「てんしば」是非視察に行きたい。民間委託の新しい形、施設包括管理と市営住宅考もとても参考になった。